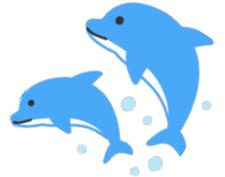




令和2年度 夏号



としょかんだより 高学年向け ブックリスト

あいおいしりつとしょかん



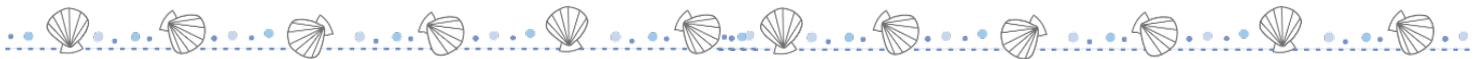
ぼうけんしよう! 海の本!

楽しい夏がやってきた!
海に行こう、山に行こう! 図書館にも行こう!

『海ガラスの夏』 BL 出版//P-ハ

ミシェル・ハウツ・文 バグラム・イバトウーリン・絵

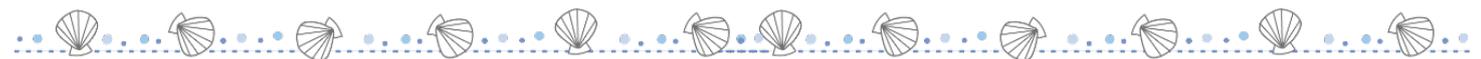
おばあちゃんの島の家で夏をすごしていたトーマスは、ある朝海岸で、海ガラスを見つけた。海水や砂にもまれ、時を経て、丸くなった海ガラス。そこには「SON」の文字がぼんやりと見えた。「SON」はなんていう言葉の一部だろう。その夜、トーマスは嵐の海の夢を見た…。少年が浜辺で拾った小さなガラスのかけらが運んでくる、そうだいな物語。



『ブルーバック』 ティム・ウイントン・作//さ・え・ら書房//93-ウ

エイベルは母親のドラと二人で、入江の小さな家で暮らしていた。生活は質素だったが、自然に満ちた暮らしは幸せなものだった。

ある日エイベルは、海で大きな魚と出会う。ブルーバックと名づけたその魚は、エイベルに慣れ、友達のような存在に…。同じころ、入江ではリゾート化計画やタンカー船の事故など、次々と問題が起こる。やがてドラは海をすくうために大きな決断をし、そのころざしは海洋生物学者となった息子のエイベルへとひきつがれていく。オーストラリアの海岸を舞台にした自然を愛する者たちの静かなたたかいをえがく。



『ぼくたちの船タンバリ』 ベンノー・ブルードラ・作//岩波書店//94-ブ

伝説の船乗りルーデン・ダツソウが故郷の村にのこした小さな帆船、タンバリ。ルーデンの唯一の友人だった少年ヤンがタンバリをもらい受けるが、貧しい村ではタンバリを売って財産にしようという話が持ち上がる。一方、ルーデンから海での数々の冒険話を聞いていたヤンは、子どもたちだけでの船出を計画するが…。

図書館活用法～こんなことに使えます～



①本を読む、借りる。

いつでも、だれでも、どうぞ。

②夏休みの宿題のヒントをさがす。

読書感想文に使う本、科学研究、かがくけんきゅう、す が こうさく 図画工作などのヒントやお手本になるような本があります。本の場所がわからなければ、あんないします。

③お勉強

2階の学習室は、勉強する人のための部屋です。だれでも、無料で使えます。ただし、学習室内でのおしゃべりや飲食は禁止です！

④ちょっと休憩

図書館は中央公園の中にあります。外で遊んでいて、ちょっと休みたい！トイレに行きたい！というときは図書館へどうぞ。2階には、じどうはんばいきもありますよ。

⑤こまったぞ！

図書館には、いつでも大人の人がいます。なにかこまったことがあったら、図書館にきて、そうだんしてください。

『シャイローがきた夏』 フィリス・レイノルズ・ネイラー・作

あすなろ書房//93-ネ

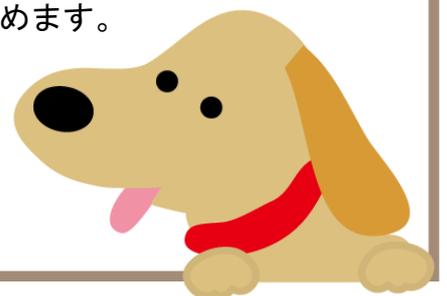
ある夏の日、11歳の少年マーティは、散歩の途中でやせ細ったビーグルの子犬に出会います。子犬はおびえているようで、マーティが近づくと後ずさりし、声も出しません。

子どもながらに、自分の家はペットが飼えるほど裕福ではないとわかっているマーティは、子犬に「シャイロー」と名づけ、ひみつの場所でこっそり世話をすることにします。しかし、シャイローをまもるためには、たくさんのうそをつかなくてはならず、さまざまな困難がつきまといまいます。

それまで大人のいうことに疑問をもたず、素直に従うだけだったマーティは、「本当に正しいこと」とは何だろう？と考えはじめます。

子犬との出会いをきっかけに、成長していく少年のすがたをえがいたさわやかな物語。

続編に『シャイローと歩いた秋』があります。



夏のおすすめ本

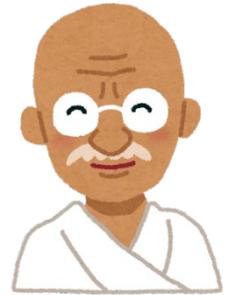
『世界を動かした塩の物語』 BL 出版//66

マーク・カーランスキー・文 S. D. シンドラー・絵



今ではどこの家の台所にもある塩ですが、昔はたいへん貴重なものでした。いくつもの戦争や、革命を引きおこす、きっかけにもなったものです。

人びとをひきつけ、経済や世界情勢まで左右してきた「塩」の歴史をわかりやすく紹介します。



さて、この人はどなたでしょう？

『孤島のドラゴン』 レベッカ・ラップ・文//評論社//93-ラ



ハナ、ザカリー、エミリーの三人きょうだいは、昔おばさんがすんでいたという、孤島にぽつんと建つ家で夏休みを過ごすことになった。それは古風だけれど、部屋がいくつもある、りっぱなお屋敷だった。おばさんからの手紙には「島での生活がたいくつなら、ドレイクの丘を調べることを、おすすめします」と書いてあった。そこで三人は、島の北のはしにある“ドレイクの丘”へと探検に出かけた。てっぺんにたどりつき、彼らが見つけたものは…!!

続編『危機のドラゴン』も
あります！

子どもたちだけで過ごす、特別な夏。あこがれがつまった、夢のような物語。

『びんの悪魔』 R・L・スティーンソン・作//福音館書店//93-ス

ハワイに住む貧しい水夫のケアウエは、老人から不思議な話を聞かされる。老人の持つ財産はすべて、悪魔のおかげで手に入れたという。何をしても割れない、地獄の炎で固められたびんの中には悪魔が入っており、びんの持ち主が願えば、「不老不死」いがいの願いなら、なんでも叶えてくれるというのだ。

しかしびんには、恐ろしい欠点もある。持ち主がびんを売る前に死ぬと、死後の世界で永久に地獄の炎に焼かれるという。そのため、びんを手にした者は死ぬまでに、次の持ち主を探さなければならない。

欲望に目がくらみ、びんを手に入れたケアウエにまちうける運命とは…。

夏にはやっぱり
こわい話！



大切な人と話そう、戦争のこと。

『弟の戦争』 ロバート・ウエストール・作//徳間書店//93-ウ

心優しくて感受性が豊か。人の痛みを放っておけないぼくの弟、フィギス。ある日とつぜん、彼は「自分はイラクの少年兵だ」と言い始める。何かにとりつかれたように表情が変わり、聞いたこともない外国語を話す弟。それはちょうど、湾岸戦争が始まった年のことだった。弟思いの兄、トムが語る弟に起こった不思議な事件。

『戦争をくぐりぬけたおさるのジョージ』

ルイズ・ボーデン・著 アラン・ドラモンド・絵//岩波書店//72

1940年6月のある朝、H. A. レイとその妻マーガレットはナチスの軍隊が攻めてくる数時間前にパリを脱出した。それも自分たちで組み立てた自転車に乗って!着のみ着のまま、わずかな荷物のなかにあったのは、絵本になる前の『おさるジョージ』の原画。ふたりの生い立ちや奇跡の逃避行を、日記や写真、イラストをまじえてたどる大型絵本。

『盆まねき』 富安 陽子・作//偕成社//91-ト

なっちゃんの夏休み最大の楽しみが近づいていた。それは毎年お盆にお母さんの田舎に泊まりに行くことだ。なかよしのいとこたちや、しんせきが集まって、お祭りみたいな毎日。でも今年初めて気になったことがある。それはおぶつだんに並ぶ写真の中で、とても若く見えるシュンスケおじさんが、どうして死んでしまったのか、ということ。

いつも明るく優しい大おばあちゃんは表情を変え、シュンスケおじさんのこと、戦争のことを話してくれた。

そして村のお祭り、盆踊りの夜。なっちゃんは不思議な体験をする。

おうちの方へ ??貸出カードはお持ちですか??

相生市にお住いの方なら、どなたでも貸出カードを作ることができます。利用登録の際、貸出カードを作る本人の身分証明書が必要ですので、お子様の場合は保険証などをご持参ください。

ご不明の点がございましたら、相生市立図書館までお問い合わせください。

相生市立図書館 0791-23-5151